

乳がん・子宮頸がん検診

◎完全予約制です。 予約方法等は、対象者に7月頃に送付いたします案内をご確認ください。

◎医療機関検診（8月～1月）

月日	曜日	検診会場	検診機関	対象者	
9月	1日	木	(午前) 大丸改善センター	相良病院 ヘルスサポートセンター	子宮頸：20歳以上 乳がん：30歳以上
	1日	木	(午後) 菱田改善センター		
	2日	金	保健センター		
	3日	土	保健センター		
	4日	日	保健センター		
	5日	月	野方改善センター		
11月	12日	土	保健センター		
	13日	日	保健センター		

巡回肺がん検診

◎巡回肺がん検診は予約不要です。

月日	曜日	検診会場	検診機関	対象者	
11月	17日	木	集落の公民館や 改善センター等	鹿児島県民総合保 健センター	65歳以上の 肺がん検診未受診者
	18日	金			
	21日	月			
	22日	火			

歯周病・口腔内検診

◎対象者には受診票を4月に送付します（対象者：令和4年度に40歳・50歳・60歳・70歳になる方）

◎令和2年度より歯科医院での検診になりました（予約制） ◎検診料金：無料

新型コロナウイルス感染に対する不安の中

健康診断やがん検診を受けるべきか検討されている方へ

「新型コロナウイルスの感染のリスク」、「健康診断・がん検診を受けないことによる健康のリスク」、どちらが恐いのか。それぞれのリスクを直接比較することは難しい問題です。ただ、健康診断やがん検診を受けなかったことで、がんや生活習慣病の発見が遅れてしまうことも避けたいですね。

がん患者のうち、4～6人に1人が検診などがきっかけで発見されています。自覚症状が現れにくい病気が少なくありません。過度な受診控えは、健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。健診（検診）を定期的に受けて、自分の体の状態を知ることが、健康維持の第1歩です。
(厚生労働省HPより抜粋)

完全予約制にすることで、3密にならない等の感染対策を行いながら実施予定です。安心してお越しください。
今後の状況によっては、中止又は延期となる場合があります。



40歳になったら がん検診



- ・近年の日本では、2人に1人が「がん」にかかると言われており、がんは日本人の死因第1位となっています。 ※1
- ・がんは、禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって、「なりにくくする（予防する）ことができる病気です。しかしそれらを心がけていても、がんに「ならないようにする」ことはできません。そのため、定期的に検診を受けることが大切です。

「自覚症状が出てから」では手遅れ

死亡者が多いがんの順位 ※2

	1位	2位	3位	4位	5位
男	肺	胃	大腸	すい臓	肝臓
女	大腸	肺	すい臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	すい臓	肝臓

※1 ※2 国立がん研究センター (2018年)
日本対がん協会より

早期発見で治す！それにはがん検診！

- ・がん検診は間隔を空けずに受けることで、異常が小さいうちに見つかるため、定期的を受診しましょう。
- ・検診で「要精密検査」となった場合、必ず精密検査を受けましょう。
胃がん検診精密検査： 胃内視鏡検査
肺がん検診精密検査： CT または気管支鏡検査
大腸がん検診精密検査： 大腸内視鏡検査
- ・症状がある場合は、検診を待たずに、医療機関を受診してください。

大崎町国民健康保険者の予防可能な疾患が医療費に占める割合

		1人あたり医療費		総医療費に占める割合				
		金額 (年額)	順位(降順)		腎		脳	心
			同規模 市町村	県内	慢性 腎不全 (透析有)	慢性 腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞
H29	大崎町	375,060円	30位/146	21位	7.6%	0.3%	1.8%	2.7%
R2	大崎町	414,780円	11位/146	19位	4.6%	0.2%	1.8%	3.9%
	鹿児島県	405,444円			5.5%	0.3%	2.7%	1.7%
	全国	307,548円			4.5%	0.3%	2.2%	1.6%

※慢性腎不全は生活習慣病に寄与しない疾患が原因で発症する場合があります。

- ・1人あたり医療費は全国と同規模の市町村と比較したときに146市町村中、高い方から11番目でした。
- ・心疾患（特に狭心症）が総医療費に占める割合が多くなっていました。

腎臓、脳、心臓の疾患は医療費が高額になりやすく皆様への経済的・身体的にも負担が大きくなります。いづれも予防可能な疾患です。特定健康診査を受診していただくことでリスクがあるかどうか調べることができます。

特定健康診査の受診もよろしくお願ひします。

裏面もご覧ください